

「スカイベリー」誕生物語 (栃木127号)

誕生秘話

平成6年に「とちおとめ」を品種登録出願してから、17年の時間を経て登録出願したのが「スカイベリー」です。この間約900の組み合わせを交配し、10万株以上の中から選抜したのが「スカイベリー」です。

交配は平成18年、同期生は約8,000株。平成19年の選抜にたずさわった研究員は「スカイベリーは8,000株のなかでも光った存在で今でもハウスの植えてあった場所を記憶している」と語っています。



名前の由来

名称は全国から4,388件の一般公募の中から選ばれた。「大きさ、美しさ、おいしさのすべてが大空に届くような素晴らしいイチゴ」の意味と栃木県・群馬県の両県にまたがる日本百名山の一つ皇海山（すかいさん）にもちなんでいる。平成24年商標登録。